

## ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	約10年間（2013年8月20日～2023年8月28日）
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券 （※1）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円・クラス、「豪ドル・コース」の場合……豪ドル・クラス、「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル・クラス、「米ドル・コース」の場合……米ドル・クラス、「通貨セレクト・コース」の場合……通貨セレクト・クラス
運用方法	①主として、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 （※1）は前述。 （※2）米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。以下同じ。 ②当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③US コンセントレイテッド・ケイマン（※1）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／（※3）買いの為替取引を行ないます。 （※3）は、以下の各コースにおいて、次のように読み替えるものとします。 「日本円・コース」の場合……日本円、「豪ドル・コース」の場合……豪ドル、「ブラジル・リアル・コース」の場合……ブラジル・リアル、「通貨セレクト・コース」の場合……選定通貨（選定通貨とは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の投資顧問会社が決定した複数の通貨をいいます。） 米ドル・コース以外
運用方法	①主として、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。 ②当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 イ、計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。 ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。 a. 10,500円以上11,000円未満の場合……300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……450円 e. 12,500円以上の場合……500円 なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。

## 通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド

－イーグルアイⅡ－

予想分配金提示型

日本円・コース／豪ドル・コース／  
ブラジル・リアル・コース／  
米ドル・コース／通貨セレクト・コース

## 運用報告書(全体版)

第18期（決算日 2018年2月28日）

第19期（決算日 2018年5月28日）

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド－イーグルアイⅡ－予想分配金提示型」は、このたび、第19期の決算を行ないました。

ここに、第18期～第19期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 <5770>  
お問い合わせ先（コールセンター） <5771>  
TEL 0120-106212 <5772>  
（営業日の9:00～17:00） <5773>  
<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5774>

日本円・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
10期末(2016年2月29日)	円 8,223	円 0	% △ 12.6	11,835	% △ 6.8	% 0.2	% 96.0	百万円 925
11期末(2016年5月30日)	9,031	0	9.8	12,752	7.8	—	97.9	937
12期末(2016年8月29日)	9,478	0	4.9	13,177	3.3	0.1	94.1	862
13期末(2016年11月28日)	10,139	0	7.0	13,446	2.0	0.0	94.5	755
14期末(2017年2月28日)	10,731	350	9.3	14,396	7.1	0.1	97.9	672
15期末(2017年5月29日)	10,559	300	1.2	14,676	1.9	0.0	97.3	622
16期末(2017年8月28日)	10,546	300	2.7	14,842	1.1	—	97.4	564
17期末(2017年11月28日)	10,445	300	1.9	15,804	6.5	—	97.8	527
18期末(2018年2月28日)	10,700	350	5.8	16,672	5.5	0.0	97.8	432
19期末(2018年5月28日)	10,245	0	△ 4.3	16,532	△ 0.8	—	95.2	413

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

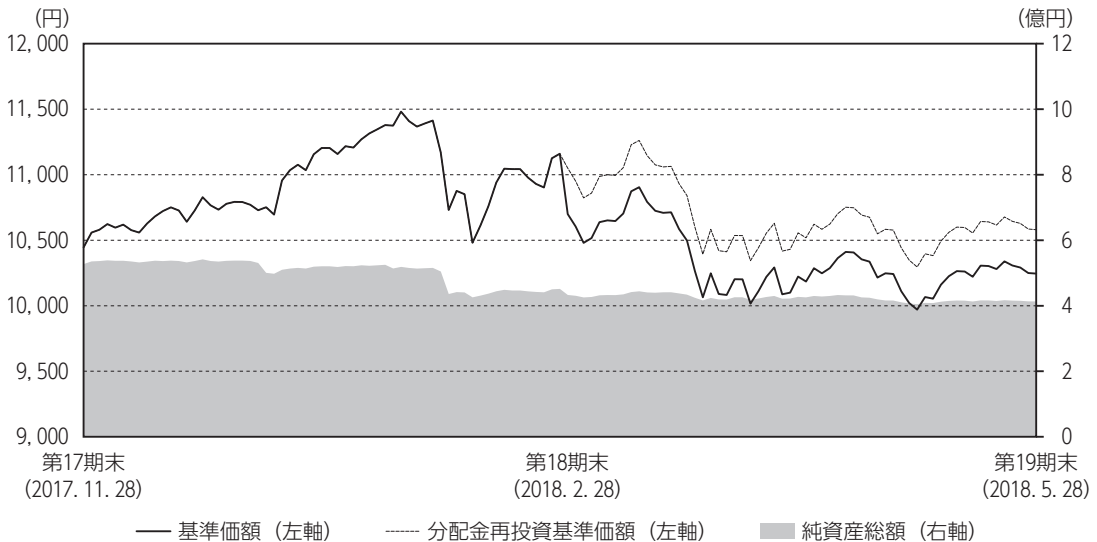
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第18期首：10,445円

第19期末：10,245円（既払分配金350円）

騰落率：1.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第18期	(期首) 2017年11月28日	10,445	—	15,804	—	—	97.8
	11月末	10,580	1.3	15,954	0.9	—	97.4
	12月末	10,752	2.9	16,327	3.3	—	98.2
	2018年1月末	11,367	8.8	17,147	8.5	—	98.5
	(期末) 2018年2月28日	11,050	5.8	16,672	5.5	0.0	97.8
第19期	(期首) 2018年2月28日	10,700	—	16,672	—	0.0	97.8
	3月末	10,203	△ 4.6	16,044	△ 3.8	—	98.2
	4月末	10,242	△ 4.3	16,202	△ 2.8	—	98.7
	(期末) 2018年5月28日	10,245	△ 4.3	16,532	△ 0.8	—	95.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

**投資環境について**

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

**米国株式市況**

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、第18期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。第19期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

**短期金利市況**

日銀は、金融緩和策を継続し、短期金利は0%近辺で推移しました。

米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げました。

**前作成期間末における「今後の運用方針」****当ファンド**

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス) 」(以下「US コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス) 」といいます。)とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

**US コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス)**

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行ないません。

**ダイワ・マネースtock・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

**ポートフォリオについて**

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

**■当ファンド**

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

**■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）**

US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE（ヘルスケア）、CHARTER COMMUNICATIONS（一般消費財・サービス）、ALPHABET（情報技術）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないました。

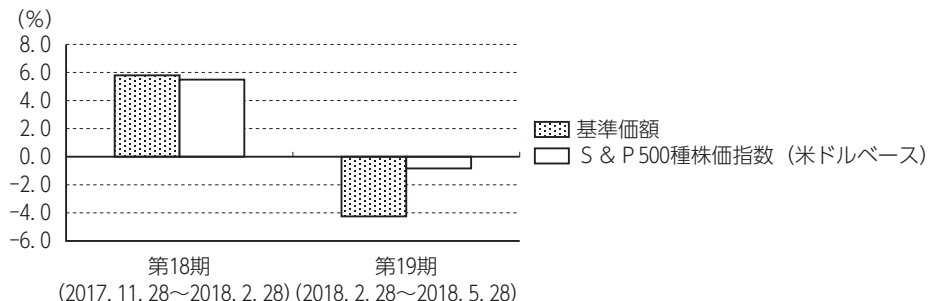
**■ダイワ・マネーストック・マザーファンド**

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第18期は350円といたしました。第19期は分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第18期		第19期	
	2017年11月29日 ~2018年2月28日		2018年3月1日 ~2018年5月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	350		—
対基準価額比率	(%)	3.17		—
当期の収益	(円)	350		—
当期の収益以外	(円)	—		—
翌期繰越分配対象額	(円)	830		830

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てしており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	0.00円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	604.32	0.00
(c) 収益調整金	193.90	214.86
(d) 分配準備積立金	382.55	615.91
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,180.78	830.78
(f) 分配金	350.00	0.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	830.78	830.78

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないません。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第19期 (2017. 11. 29～2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,632円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	65	0.607	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	104.102	15,000	1,041.693	151,500

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー ストック・ マザーファンド	—	—	1,196	1,200

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

第18期～				第19期			
銘柄	買付			銘柄	売付		
	□数	金額	平均単価		□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	104.102	15,000	144	US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS (ケイマン諸島)	1,041.693	151,500	145

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第18期～第19期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第19期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN JPY CLASS	2,798.454	393,493	95.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第17期末	第19期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	1,496	300	301

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	393,493	94.9
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	301	0.1
コール・ローン等、その他	20,674	5.0
投資信託財産総額	414,469	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月28日)、(2018年5月28日)現在

項 目	第18期末	第19期末
<b>(A) 資産</b>	<b>448,572,863円</b>	<b>414,469,373円</b>
コール・ローン等	23,584,007	20,674,806
投資信託受益証券(評価額)	423,487,712	393,493,484
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,501,144	301,083
<b>(B) 負債</b>	<b>15,710,867</b>	<b>1,274,187</b>
未払収益分配金	14,158,711	—
未払信託報酬	1,541,912	1,255,093
その他未払費用	10,244	19,094
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>432,861,996</b>	<b>413,195,186</b>
元本	404,534,628	403,310,184
次期繰越損益金	28,327,368	9,885,002
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>404,534,628口</b>	<b>403,310,184口</b>
1万円当り基準価額(C/D)	10,700円	10,245円

\*第17期末における元本額は504,683,514円、当作成期間(第18期~第19期)中における追加設定元本額は16,870,118円、同解約元本額は118,243,448円です。

\*第19期末の計算口数当りの純資産額は10,245円です。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	24,446,952	0
(c) 収益調整金	7,844,038	8,665,794
(d) 分配準備積立金	15,475,725	24,840,479
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	47,766,715	33,506,273
(f) 分配金	14,158,711	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	33,608,004	33,506,273
(h) 受益権総口数	404,534,628口	403,310,184口

■損益の状況

第18期 自 2017年11月29日 至 2018年2月28日

第19期 自 2018年3月1日 至 2018年5月28日

項 目	第16期	第17期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>△ 1,171円</b>	<b>△ 879円</b>
受取利息	153	28
支払利息	△ 1,324	△ 907
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>25,998,936</b>	<b>△ 16,912,927</b>
売買益	31,236,401	544,403
売買損	△ 5,237,465	△ 17,457,330
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 1,552,156</b>	<b>△ 1,264,183</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>24,445,609</b>	<b>△ 18,177,989</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>15,475,725</b>	<b>24,839,185</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>2,564,745</b>	<b>3,223,806</b>
(配当等相当額)	( 7,844,038)	( 8,665,794)
(売買損益相当額)	(△ 5,279,293)	(△ 5,441,988)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>42,486,079</b>	<b>9,885,002</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 14,158,711</b>	<b>—</b>
次期繰越損益金(G+H)	28,327,368	9,885,002
追加信託差損益金	2,564,745	3,223,806
(配当等相当額)	( 7,844,038)	( 8,665,794)
(売買損益相当額)	(△ 5,279,293)	(△ 5,441,988)
分配準備積立金	25,763,966	24,840,479
繰越損益金	△ 1,343	△ 18,179,283

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第18期
	350円
(単 価)	(10,700円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## 豪ドル・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
10期末(2016年2月29日)	7,546	30	△19.2	11,835	△6.8	80.95	△8.1	0.3	96.5	464
11期末(2016年5月30日)	8,034	30	6.9	12,752	7.8	79.49	△1.8	—	97.4	459
12期末(2016年8月29日)	8,190	30	2.3	13,177	3.3	76.85	△3.3	0.1	93.4	395
13期末(2016年11月28日)	9,535	20	16.7	13,446	2.0	83.59	8.8	0.0	94.4	401
14期末(2017年2月28日)	10,457	300	12.8	14,396	7.1	86.37	3.3	0.0	97.3	421
15期末(2017年5月29日)	10,220	0	△2.3	14,676	1.9	82.86	△4.1	0.0	94.2	378
16期末(2017年8月28日)	10,719	300	7.8	14,842	1.1	86.68	4.6	—	97.3	336
17期末(2017年11月28日)	10,406	300	△0.1	15,804	6.5	84.46	△2.6	—	98.0	296
18期末(2018年2月28日)	10,627	350	5.5	16,672	5.5	83.66	△0.9	0.0	98.0	290
19期末(2018年5月28日)	10,046	0	△5.5	16,532	△0.8	82.80	△1.0	—	95.5	265

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

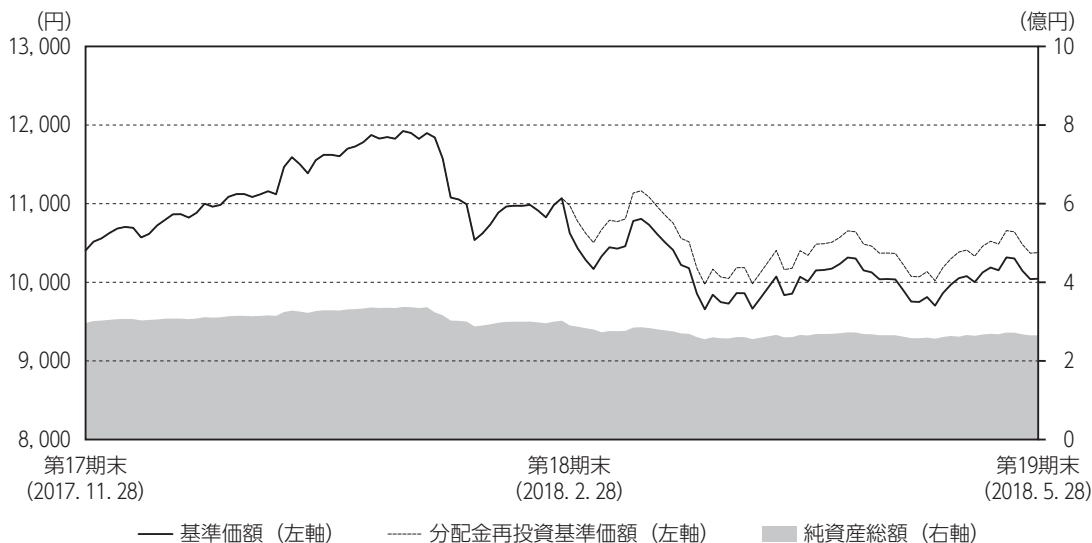
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第18期首：10,406円

第19期末：10,046円（既払分配金350円）

騰落率：△0.3%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

豪ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		豪ドル為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第18期	(期首) 2017年11月28日	10,406	—	15,804	—	84.46	—	—	98.0
	11月末	10,558	1.5	15,954	0.9	84.87	0.5	—	97.4
	12月末	11,158	7.2	16,327	3.3	88.17	4.4	—	98.8
	2018年1月末	11,824	13.6	17,147	8.5	87.79	3.9	—	99.0
	(期末) 2018年2月28日	10,977	5.5	16,672	5.5	83.66	△ 0.9	0.0	98.0
第19期	(期首) 2018年2月28日	10,627	—	16,672	—	83.66	—	0.0	98.0
	3月末	9,862	△ 7.2	16,044	△ 3.8	81.66	△ 2.4	—	98.2
	4月末	10,036	△ 5.6	16,202	△ 2.8	82.61	△ 1.3	—	99.0
	(期末) 2018年5月28日	10,046	△ 5.5	16,532	△ 0.8	82.80	△ 1.0	—	95.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、第18期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。第19期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

### ■ 為替相場

豪ドルの対円為替相場は下落しました。第18期首から2018年1月にかけては、オーストラリアの堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、豪ドルは対円で堅調に推移しました。その後は、米国長期金利の上昇を受けて株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや、米中の貿易摩擦への懸念などが、豪ドルの下落要因となりました。

### ■ 短期金利市況

RBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を1.50%で据え置きました。

米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」といいます。）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行いません。



## ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)

US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE (ヘルスケア)、CHARTER COMMUNICATIONS (一般消費財・サービス)、ALPHABET (情報技術) などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行いました。

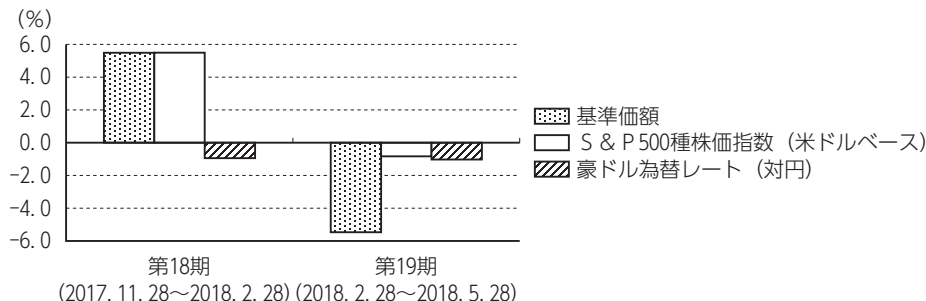
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金(税込み)は、第18期は350円といたしました。第19期は分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し収益分配を見送らせていただきました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳(1万口当り)

項目	単位	第18期	第19期
		2017年11月29日 ~2018年2月28日	2018年3月1日 ~2018年5月28日
当期分配金	(円)	350	—
対基準価額比率	(%)	3.19	—
当期の収益	(円)	342	—
当期の収益以外	(円)	7	—
翌期繰越分配対象額	(円)	894	894

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てしており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	29.35円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	312.79	0.00
(c) 収益調整金	411.14	421.62
(d) 分配準備積立金	490.75	472.42
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,244.04	894.04
(f) 分配金	350.00	0.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	894.04	894.04

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行いません。

### ■ ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第19期 (2017. 11. 29～2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	64円	0.603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,635円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	65	0.607	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	62.752	7,574	358.682	46,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

(注2) 金額は受渡し代金。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	299	300

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

第18期				第19期			
買付		平均単価		売付		平均単価	
銘柄	□数	金額	円	銘柄	□数	金額	円
US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	50.102	6,000	119	US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS (ケイマン諸島)	358.682	46,000	128

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第18期～第19期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第19期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN AUD CLASS	2,092.711	253,245	95.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第17期末	第19期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	499	200	201

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	253,245	95.3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	201	0.1
コール・ローン等、その他	12,423	4.6
投資信託財産総額	265,870	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月28日)、(2018年5月28日)現在

項 目	第18期末	第19期末
<b>(A) 資産</b>	<b>300,723,022円</b>	<b>265,870,265円</b>
コール・ローン等	15,908,779	12,423,601
投資信託受益証券(評価額)	284,312,800	253,245,261
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	501,443	201,403
<b>(B) 負債</b>	<b>10,523,155</b>	<b>805,239</b>
未払収益分配金	9,558,088	—
未払信託報酬	958,727	793,404
その他未払費用	6,340	11,835
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>290,199,867</b>	<b>265,065,026</b>
元本	273,088,231	263,838,378
次期繰越損益金	17,111,636	1,226,648
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>273,088,231口</b>	<b>263,838,378口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,627円	10,046円

\*第17期末における元本額は284,678,717円、当作成期間(第18期~第19期)中における追加設定元本額は7,822,263円、同解約元本額は28,662,602円です。

\*第19期末の計算口数当りの純資産額は10,046円です。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	801,638円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	8,541,980	0
(c) 収益調整金	11,227,822	11,124,173
(d) 分配準備積立金	13,402,075	12,464,278
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	33,973,515	23,588,451
(f) 分配金	9,558,088	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	24,415,427	23,588,451
(h) 受益権総口数	273,088,231口	263,838,378口

■損益の状況

第18期 自 2017年11月29日 至 2018年2月28日

第19期 自 2018年3月1日 至 2018年5月28日

項 目	第18期	第19期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>851,393円</b>	<b>722,375円</b>
受取配当金	851,967	722,849
受取利息	18	10
支払利息	△ 592	△ 484
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>15,690,683</b>	<b>△ 15,018,127</b>
売買益	17,241,785	735,241
売買損	△ 1,551,102	△ 15,753,368
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 965,067</b>	<b>△ 799,015</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>15,577,009</b>	<b>△ 15,094,767</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>7,168,684</b>	<b>12,464,278</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>3,924,031</b>	<b>3,857,137</b>
(配当等相当額)	( 11,227,822)	( 11,124,173)
(売買損益相当額)	(△ 7,303,791)	(△ 7,267,036)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>26,669,724</b>	<b>1,226,648</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 9,558,088</b>	<b>—</b>
次期繰越損益金(G+H)	17,111,636	1,226,648
追加信託差損益金	3,924,031	3,857,137
(配当等相当額)	( 11,227,822)	( 11,124,173)
(売買損益相当額)	(△ 7,303,791)	(△ 7,267,036)
分配準備積立金	13,187,605	12,464,278
繰越損益金	—	△ 15,094,767

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	第18期
	350円
(単 価)	(10,627円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ブラジル・リアル・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	円	%	%	%	百万円
10期末(2016年2月29日)	6,306	200	△ 21.7	11,835	△ 6.8	28.41	△ 11.0	0.3	98.2	678
11期末(2016年5月30日)	7,341	200	19.6	12,752	7.8	30.67	8.0	—	97.4	757
12期末(2016年8月29日)	7,884	250	10.8	13,177	3.3	31.20	1.7	0.1	96.1	730
13期末(2016年11月28日)	8,861	250	15.6	13,446	2.0	32.88	5.4	0.0	96.2	727
14期末(2017年2月28日)	10,518	300	22.1	14,396	7.1	36.16	10.0	0.0	97.3	1,000
15期末(2017年5月29日)	10,098	220	△ 1.9	14,676	1.9	34.15	△ 5.6	0.0	96.5	952
16期末(2017年8月28日)	10,483	300	6.8	14,842	1.1	34.53	1.1	—	97.4	800
17期末(2017年11月28日)	10,476	300	2.8	15,804	6.5	34.41	△ 0.3	—	97.8	725
18期末(2018年2月28日)	10,440	300	2.5	16,672	5.5	33.02	△ 4.0	0.0	97.8	686
19期末(2018年5月28日)	9,070	70	△ 12.5	16,532	△ 0.8	29.98	△ 9.2	—	98.6	477

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

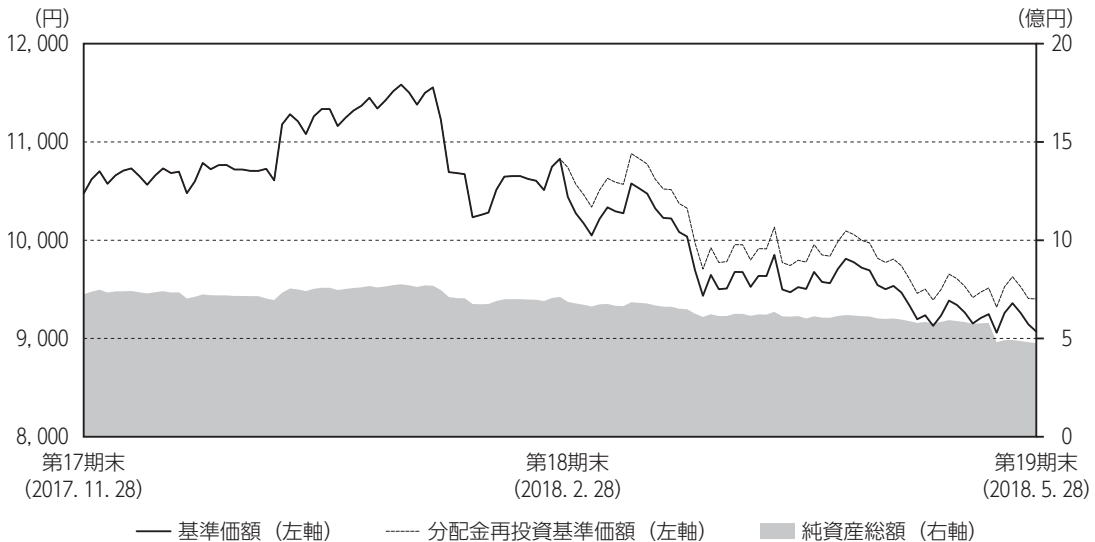
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。





## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第18期首：10,476円

第19期末：9,070円（既払分配金370円）

騰落率：△10.2%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアルが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		ブラジル・リアル 為替レート		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %		
第18期	(期首) 2017年11月28日	10,476	—	15,804	—	34.41	—	—	97.8
	11月末	10,702	2.2	15,954	0.9	34.53	0.3	—	96.9
	12月末	10,727	2.4	16,327	3.3	34.07	△ 1.0	—	98.3
	2018年1月末	11,379	8.6	17,147	8.5	34.20	△ 0.6	—	98.4
	(期末) 2018年2月28日	10,740	2.5	16,672	5.5	33.02	△ 4.0	0.0	97.8
第19期	(期首) 2018年2月28日	10,440	—	16,672	—	33.02	—	0.0	97.8
	3月末	9,677	△ 7.3	16,044	△ 3.8	32.13	△ 2.7	—	98.5
	4月末	9,535	△ 8.7	16,202	△ 2.8	31.43	△ 4.8	—	98.7
	(期末) 2018年5月28日	9,140	△ 12.5	16,532	△ 0.8	29.98	△ 9.2	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

### ■ 米国株式市況

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、第18期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。第19期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

### ■ 為替相場

ブラジル・リアルの為替相場は下落しました。米国長期金利の上昇を受けて株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや米中の貿易摩擦への懸念、米国金利の上昇を受けた新興国からの資金流出が懸念されたことなどが、リアルの為替相場の下落要因となりました。

### ■ 短期金利市況

ブラジル中央銀行が継続的に利下げを実施したことなどから、ブラジルの短期金利は低下基調で推移しました。

米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■ 当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワノハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」といいます。)とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して

割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。

#### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

#### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

#### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE（ヘルスケア）、CHARTER COMMUNICATIONS（一般消費財・サービス）、ALPHABET（情報技術）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないました。

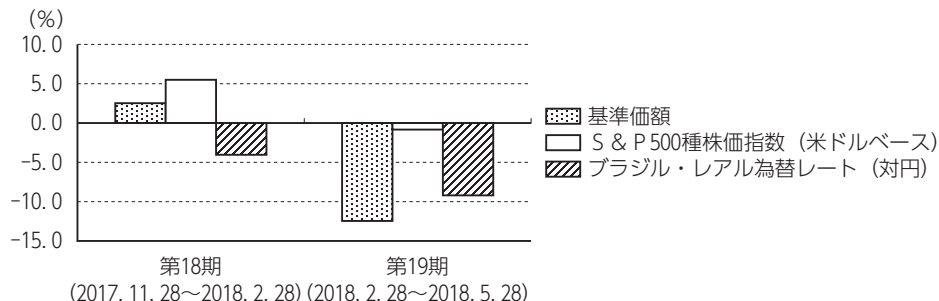
#### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第18期は300円、第19期は70円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第18期		第19期	
	2017年11月29日 ~2018年2月28日		2018年3月1日 ~2018年5月28日	
当期分配金（税込み）	(円)	300	70	
対基準価額比率	(%)	2.79	0.77	
当期の収益	(円)	134	70	
当期の収益以外	(円)	165	—	
翌期繰越分配対象額	(円)	2,872	2,899	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	134.47円	97.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,920.99	1,929.36
(d) 分配準備積立金	1,117.22	943.31
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,172.68	2,969.81
(f) 分配金	300.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,872.68	2,899.81

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いません。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行いません。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第19期 (2017. 11. 29～2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	62円	0. 603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 273円です。
(投 信 会 社)	(22)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	62	0. 607	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	326.421	33,035	2,025.746	193,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	1,196	1,200

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

第18期				第19期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	137.44	15,000	109	US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS (ケイマン諸島)	2,025.746	193,000	95

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第18期～第19期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第19期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN BRL CLASS	5,307.91	470,567	98.6

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第17期末	第19期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	1,496	300	301

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	470,567	97.5
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	301	0.1
コール・ローン等、その他	11,755	2.4
投資信託財産総額	482,624	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。



■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月28日)、(2018年5月28日)現在

項目	第18期末	第19期末
<b>(A) 資産</b>	<b>708,053,118円</b>	<b>482,624,070円</b>
コール・ローン等	35,401,508	11,755,499
投資信託受益証券(評価額)	671,150,466	470,567,488
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	1,501,144	301,083
<b>(B) 負債</b>	<b>21,957,344</b>	<b>5,615,903</b>
未払収益分配金	19,715,703	3,681,619
未払解約金	—	93,049
未払信託報酬	2,226,842	1,813,639
その他未払費用	14,799	27,596
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>686,095,774</b>	<b>477,008,167</b>
元本	657,190,130	525,945,712
次期繰越損益金	28,905,644	△ 48,937,545
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>657,190,130口</b>	<b>525,945,712口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,440円	9,070円

\*第17期末における元本額は692,326,133円、当作成期間(第18期~第19期)における追加設定元本額は26,506,242円、同解約元本額は192,886,663円です。

\*第19期末の計算口数当りの純資産額は9,070円です。

\*第19期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は48,937,545円です。

■損益の状況

第18期 自 2017年11月29日 至 2018年2月28日  
第19期 自 2018年3月1日 至 2018年5月28日

項目	第18期	第19期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>10,053,367円</b>	<b>6,935,694円</b>
受取配当金	10,055,073	6,936,956
受取利息	58	31
支払利息	△ 1,764	△ 1,293
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>8,481,559</b>	<b>73,213,268</b>
売買益	10,040,192	12,989,723
売買損	△ 1,558,633	△ 86,202,991
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 2,241,641</b>	<b>△ 1,826,745</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>16,293,285</b>	<b>△ 68,104,319</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>13,963,051</b>	<b>8,361,360</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>18,365,011</b>	<b>14,487,033</b>
(配当等相当額)	( 126,245,745)	( 101,474,091)
(売買損益相当額)	(△ 107,880,734)	(△ 86,987,058)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>48,621,347</b>	<b>△ 45,259,926</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 19,715,703</b>	<b>△ 3,681,619</b>
次期繰越損益金(G+H)	28,905,644	△ 48,937,545
追加信託差損益金	18,365,011	14,487,033
(配当等相当額)	( 126,245,745)	( 101,474,091)
(売買損益相当額)	(△ 107,880,734)	(△ 86,987,058)
分配準備積立金	62,544,436	51,040,646
繰越損益金	△ 52,003,803	△ 114,465,224

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	8,837,310円	5,108,895円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	126,245,745	101,474,091
(d) 分配準備積立金	73,422,829	49,613,370
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	208,505,884	156,196,356
(f) 分配金	19,715,703	3,681,619
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	188,790,181	152,514,737
(h) 受益権総口数	657,190,130口	525,945,712口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第18期	第19期
	300円	70円
(単 価)	(10,440円)	(9,070円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

## 米ドル・コース

## 最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
10期末(2016年2月29日)	円 8,907	円 0	% △ 18.9	13,762	% △ 13.8	% 0.1	% 96.0	百万円 7,484
11期末(2016年5月30日)	9,496	0	6.6	14,451	5.0	—	97.8	7,338
12期末(2016年8月29日)	9,142	0	△ 3.7	13,735	△ 5.0	0.1	93.8	6,396
13期末(2016年11月28日)	10,669	300	20.0	15,446	12.5	0.0	97.4	6,526
14期末(2017年2月28日)	11,205	400	8.8	16,584	7.4	0.0	98.4	6,453
15期末(2017年5月29日)	10,935	350	0.7	16,724	0.8	0.0	97.8	5,874
16期末(2017年8月28日)	10,716	350	1.2	16,573	△ 0.9	—	97.9	5,145
17期末(2017年11月28日)	10,792	350	4.0	17,953	8.3	—	97.7	4,840
18期末(2018年2月28日)	10,765	350	3.0	18,320	2.0	0.0	97.8	4,747
19期末(2018年5月28日)	10,229	300	△ 2.2	18,532	1.2	—	98.3	4,489

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(円換算)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

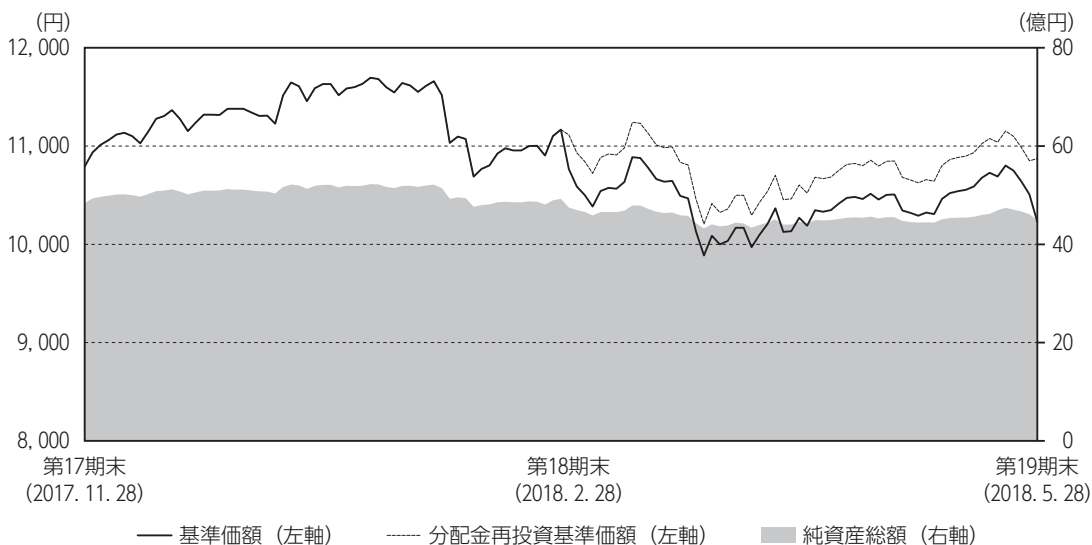
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### 基準価額・騰落率

第18期首：10,792円

第19期末：10,229円（既払分配金650円）

騰落率：0.7%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

米国株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第18期	(期首) 2017年11月28日	10,792	—	17,953	—	—	97.7
	11月末	11,013	2.0	18,295	1.9	—	97.2
	12月末	11,310	4.8	18,882	5.2	—	98.0
	2018年1月末	11,551	7.0	19,091	6.3	—	98.3
	(期末) 2018年2月28日	11,115	3.0	18,320	2.0	0.0	97.8
第19期	(期首) 2018年2月28日	10,765	—	18,320	—	0.0	97.8
	3月末	10,169	△ 5.5	17,444	△ 4.8	—	98.3
	4月末	10,507	△ 2.4	18,132	△ 1.0	—	98.9
	(期末) 2018年5月28日	10,529	△ 2.2	18,532	1.2	—	98.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、第18期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。第19期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

### ■為替相場

米ドルの対円為替相場は下落しました。米国の税制改革法案成立への期待などから上昇する局面も見られましたが、米国長期金利の上昇を受けて株価が下落する中で市場のリスク回避姿勢が強まったことや、米中の貿易摩擦への懸念などが、米ドル対円相場の下落要因となりました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) 」(以下「US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) 」といいます。)とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

## ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

## ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE（ヘルスケア）、CHARTER COMMUNICATIONS（一般消費財・サービス）、ALPHABET（情報技術）などを高位で組み入れました。

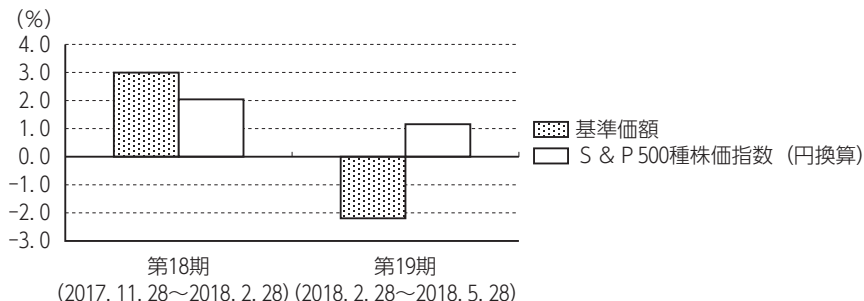
## ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第18期は350円、第19期は300円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		第18期	第19期
		2017年11月29日 ~2018年2月28日	2018年3月1日 ~2018年5月28日
当期分配金（税込み）	(円)	350	300
対基準価額比率	(%)	3.15	2.85
当期の収益	(円)	313	—
当期の収益以外	(円)	36	300
翌期繰越分配対象額	(円)	884	584

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	26.55円	0.00円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	287.28	0.00
(c) 収益調整金	641.31	651.28
(d) 分配準備積立金	279.06	232.94
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,234.21	884.22
(f) 分配金	350.00	300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	884.21	584.22

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（米ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第19期 (2017. 11. 29～2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	65円	0. 603%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 854円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0. 214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0. 375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	66	0. 607	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	353.634	55,321	2,616.143	415,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	7,976	8,000

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

第18期				第19期			
銘柄	買付			銘柄	売付		
	□数	金額	平均単価		□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	192.542	30,000	155	US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS (ケイマン諸島)	2,616.143	415,000	158

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第18期～第19期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第19期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN USD CLASS	28,196.449	4,414,351	98.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第17期末	第19期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	9,976	1,999	2,004

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,414,351	95.2
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,004	0.0
コール・ローン等、その他	220,830	4.8
投資信託財産総額	4,637,186	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月28日)、(2018年5月28日)現在

項目	第18期末	第19期末
<b>(A) 資産</b>	<b>4,920,625,362円</b>	<b>4,637,186,665円</b>
コール・ローン等	268,013,871	220,830,483
投資信託受益証券(評価額)	4,642,606,516	4,414,351,608
ダイワ・マネースtock・マザーファンド(評価額)	10,004,975	2,004,574
<b>(B) 負債</b>	<b>173,262,989</b>	<b>147,449,404</b>
未払収益分配金	154,352,913	131,674,697
未払解約金	3,350,100	2,101,800
未払信託報酬	15,456,978	13,474,159
その他未払費用	102,998	198,748
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>4,747,362,373</b>	<b>4,489,737,261</b>
元本	4,410,083,251	4,389,156,585
次期繰越損益金	337,279,122	100,580,676
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>4,410,083,251口</b>	<b>4,389,156,585口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	10,765円	10,229円

\*第17期末における元本額は4,485,170,270円、当作成期間(第18期～第19期)における追加設定元本額は264,936,050円、同解約元本額は360,949,735円です。  
\*第19期末の計算口数当りの純資産額は10,229円です。

■損益の状況

第18期 自 2017年11月29日 至 2018年2月28日  
第19期 自 2018年3月1日 至 2018年5月28日

項目	第18期	第19期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>13,026,615円</b>	<b>12,269,514円</b>
受取配当金	13,040,172	12,278,268
受取利息	220	181
支払利息	△ 13,777	△ 8,935
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>140,937,659</b>	<b>△ 100,658,901</b>
売買益	148,625,141	4,940,019
売買損	△ 7,687,482	△ 105,598,920
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 15,559,976</b>	<b>△ 13,572,252</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>138,404,298</b>	<b>△ 101,961,639</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>123,070,379</b>	<b>102,242,965</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>230,157,358</b>	<b>231,974,047</b>
(配当等相当額)	( 282,824,109)	( 285,859,077)
(売買損益相当額)	(△ 52,666,751)	(△ 53,885,030)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>491,632,035</b>	<b>232,255,373</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 154,352,913</b>	<b>△ 131,674,697</b>
次期繰越損益金(G+H)	337,279,122	100,580,676
追加信託差損益金	230,157,358	202,542,315
(配当等相当額)	( 282,824,109)	( 256,427,345)
(売買損益相当額)	(△ 52,666,751)	(△ 53,885,030)
分配準備積立金	107,121,764	—
繰越損益金	—	△ 101,961,639

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。  
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。  
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,708,904円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	126,695,394	0
(c) 収益調整金	282,824,109	285,859,077
(d) 分配準備積立金	123,070,379	102,242,965
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	544,298,786	388,102,042
(f) 分配金	154,352,913	131,674,697
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	389,945,873	256,427,345
(h) 受益権総口数	4,410,083,251口	4,389,156,585口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第18期	第19期
	350円	300円
(単 価)	(10,765円)	(10,229円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

通貨セレクト・コース

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
10期末(2016年2月29日)	円 6,469	円 150	% △ 21.7	11,835	% △ 6.8	% 0.3	% 98.4	百万円 2,393
11期末(2016年5月30日)	6,991	110	9.8	12,752	7.8	—	97.5	2,467
12期末(2016年8月29日)	6,931	120	0.9	13,177	3.3	0.0	93.9	2,154
13期末(2016年11月28日)	7,657	130	12.4	13,446	2.0	0.0	93.0	1,970
14期末(2017年2月28日)	8,677	160	15.4	14,396	7.1	0.0	94.7	2,042
15期末(2017年5月29日)	8,763	130	2.5	14,676	1.9	0.0	95.0	1,784
16期末(2017年8月28日)	8,941	140	3.6	14,842	1.1	—	98.6	1,657
17期末(2017年11月28日)	8,964	130	1.7	15,804	6.5	—	98.3	1,497
18期末(2018年2月28日)	9,309	120	5.2	16,672	5.5	0.0	98.5	1,481
19期末(2018年5月28日)	8,303	100	△ 9.7	16,532	△ 0.8	—	98.8	1,239

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500種株価指数(米ドルベース)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

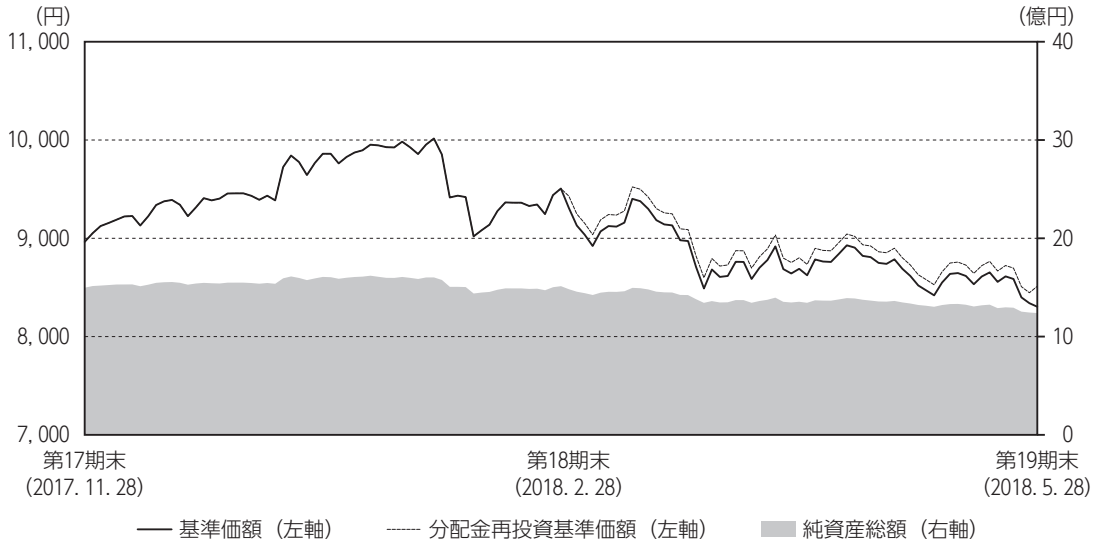
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### ■基準価額・騰落率

第18期首：8,964円

第19期末：8,303円（既払分配金220円）

騰落率：△5.0%（分配金再投資ベース）

#### ■基準価額の主な変動要因

選定通貨（※）が対円でおおむね下落したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

	年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		公 社 債 組入比率	投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
第18期	(期首) 2017年11月28日	8,964	—	15,804	—	—	98.3
	11月末	9,124	1.8	15,954	0.9	—	98.7
	12月末	9,434	5.2	16,327	3.3	—	98.8
	2018年1月末	9,857	10.0	17,147	8.5	—	98.8
	(期末) 2018年2月28日	9,429	5.2	16,672	5.5	0.0	98.5
第19期	(期首) 2018年2月28日	9,309	—	16,672	—	0.0	98.5
	3月末	8,761	△ 5.9	16,044	△ 3.8	—	98.7
	4月末	8,786	△ 5.6	16,202	△ 2.8	—	98.4
	(期末) 2018年5月28日	8,403	△ 9.7	16,532	△ 0.8	—	98.8

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



**投資環境について**

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

**■ 米国株式市況**

米国株式市況は、米国の税制改革法案成立への期待や堅調な経済指標の発表などが支援材料となり、第18期首から2018年1月下旬にかけて上昇しました。その後、米国の雇用統計が市場予想を上回り米国金利が上昇したことで、市場のリスク回避姿勢が強まり、2月中旬にかけて調整しました。第19期末にかけては、米国の利上げペースや米中の貿易摩擦をめぐる動向などに左右されながら、一進一退の推移となりました。

**■ 為替相場**

選定通貨の対円為替相場はおおむね下落しました。第18期首から2018年1月末にかけては、各国の材料などに左右されつつ、選定通貨は対円でまちまちな動きとなりました。2月に入ると、米国金利の上昇などを背景に株価が急落する中、市場のリスク回避姿勢が強まり、選定通貨は対円でおおむね下落しました。4月以降も、米国金利の上昇や米ドル高を背景とした新興国からの資金流出懸念から、選定通貨は対円でおおむね下落しました。

当作成期間における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、トルコ・リラ、ブラジル・レアルは対円で下落しました。一方で、中国・人民元は対円で上昇しました。

**■ 短期金利市況**

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

米国では、2017年12月および2018年3月にそれぞれ利上げを実施し、政策金利の誘導目標レンジを1.00~1.25%から1.50~1.75%に引き上げました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

今後も、「ダイワ・プレミアム・トラストー ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」といいます。）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追及していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないません。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行ないません。

### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行なう方針です。

## ポートフォリオについて

(2017. 11. 29 ~ 2018. 5. 28)

### ■当ファンド

当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合は信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券においては、株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイ

ツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。引き続き、財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、金融、一般消費財・サービスを高位で組み入れました。銘柄別では、HCA HEALTHCARE（ヘルスケア）、CHARTER COMMUNICATIONS（一般消費財・サービス）、ALPHABET（情報技術）などを高位で組み入れました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないました。

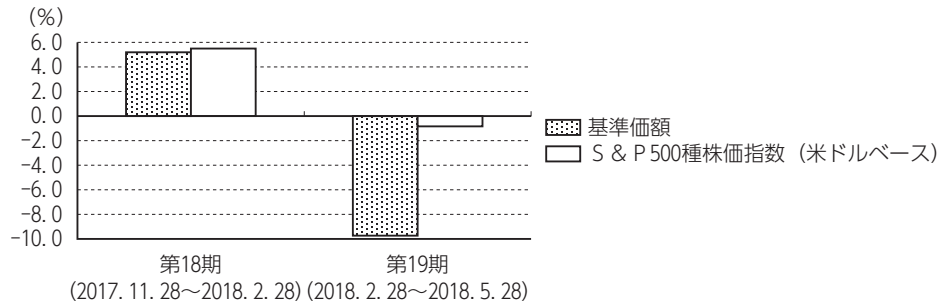
### ■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第18期は120円、第19期は100円といたしました。  
 収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
	2017年11月29日 ～2018年2月28日	2018年3月1日 ～2018年5月28日
当期分配金（税込み）（円）	120	100
対基準価額比率（％）	1.27	1.19
当期の収益（円）	120	100
当期の収益以外（円）	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	2,128	2,150

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	148.99円	122.28円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	160.88	165.50
(d) 分配準備積立金	1,938.35	1,962.73
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	2,248.23	2,250.52
(f) 分配金	120.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	2,128.23	2,150.52

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

今後も、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行ないます。

大和証券投資信託委託株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行ないます。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第18期～第19期 (2017. 11. 29～2018. 5. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.602%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,141円です。
(投 信 会 社)	(20)	(0.214)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.375)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	55	0.606	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注3) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	550.895	48,137	2,171.883	194,000

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

決算期	第18期～第19期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	—	—	1,495	1,500

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄  
投資信託受益証券

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

第18期				第19期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS (ケイマン諸島)	2,171.883	194,000	89

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間(第18期～第19期)中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第19期末		
	□数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) US CONCENTRATED CAYMAN CS CLASS	14,942.991	1,224,025	98.8

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 (注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第17期末	第19期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	2,001	505	507

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月28日現在

項目	第19期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,224,025	97.3
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	507	0.0
コール・ローン等、その他	33,690	2.7
投資信託財産総額	1,258,222	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2018年2月28日)、(2018年5月28日)現在

項 目	第18期末	第19期末
<b>(A) 資産</b>	<b>1,505,392,277円</b>	<b>1,258,222,936円</b>
コール・ローン等	43,775,385	33,690,414
投資信託受益証券(評価額)	1,459,609,525	1,224,025,257
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	2,007,367	507,265
<b>(B) 負債</b>	<b>23,856,297</b>	<b>19,052,059</b>
未払収益分配金	19,097,550	14,924,906
未払信託報酬	4,727,273	4,067,083
その他未払費用	31,474	60,070
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>1,481,535,980</b>	<b>1,239,170,877</b>
元本	1,591,462,554	1,492,490,621
次期繰越損益金	△ 109,926,574	△ 253,319,744
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>1,591,462,554口</b>	<b>1,492,490,621口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	9,309円	8,303円

\*第17期末における元本額は1,670,092,104円、当作成期間(第18期~第19期)中における追加設定元本額は8,024,277円、同解約元本額は185,625,760円です。

\*第19期末の計算口数当りの純資産額は8,303円です。

\*第19期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は253,319,744円です。

■損益の状況

第18期 自 2017年11月29日 至 2018年2月28日  
第19期 自 2018年3月1日 至 2018年5月28日

項 目	第18期	第19期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>25,236,936円</b>	<b>22,347,836円</b>
受取配当金	25,239,822	22,350,196
受取利息	65	50
支払利息	△ 2,951	△ 2,410
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>53,514,045</b>	<b>△ 153,552,634</b>
売買益	58,291,597	6,602,238
売買損	△ 4,777,552	△ 160,154,872
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 4,758,747</b>	<b>△ 4,096,382</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>73,992,234</b>	<b>△ 135,301,180</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>△ 164,599,429</b>	<b>△ 102,640,993</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>△ 221,829</b>	<b>△ 452,665</b>
(配当等相当額)	( 25,604,394)	( 24,700,958)
(売買損益相当額)	(△ 25,826,223)	(△ 25,153,623)
<b>(G) 合計(D+E+F)</b>	<b>△ 90,829,024</b>	<b>△ 238,394,838</b>
<b>(H) 収益分配金</b>	<b>△ 19,097,550</b>	<b>△ 14,924,906</b>
<b>次期繰越損益金(G+H)</b>	<b>△ 109,926,574</b>	<b>△ 253,319,744</b>
追加信託差損益金	△ 221,829	△ 452,665
(配当等相当額)	( 25,604,394)	( 24,700,958)
(売買損益相当額)	(△ 25,826,223)	(△ 25,153,623)
分配準備積立金	313,096,208	296,262,788
繰越損益金	△ 422,800,953	△ 549,129,867

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	第18期	第19期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,711,501円	18,251,357円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	25,604,394	24,700,958
(d) 分配準備積立金	308,482,257	292,936,337
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	357,798,152	335,888,652
(f) 分配金	19,097,550	14,924,906
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	338,700,602	320,963,746
(h) 受益権総口数	1,591,462,554口	1,492,490,621口



収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金	第18期	第19期
	120円	100円
(単 価)	(9,309円)	(8,303円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン  
日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／  
米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型）はケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン 日本円・クラス／豪ドル・クラス／ブラジル・レアル・クラス／米ドル・クラス／通貨セレクト・クラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2018年5月28日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表  
2017年5月31日

<b>資産</b>		
投資資産の評価額（簿価 \$73,217,160）	\$	85,883,723
現金		1,775
外国為替先渡契約による評価益		187,849
未収：		
売却済みの投資		2,378,212
配当		54,519
カウンターパーティへの預託金（外国為替先渡契約用）		630,000
前払受託会社報酬		8,082
<b>資産合計</b>		<b>89,144,160</b>
<b>負債</b>		
外国為替先渡契約による評価損		522,303
未払：		
購入済み投資資産		3,587,021
解約済み受益証券		226,070
専門家報酬		53,045
運用会社報酬		42,453
会計および管理会社報酬		8,987
保管会社報酬		6,240
為替運用会社報酬		2,451
名義書換代理人報酬		2,068
為替取引補助会社報酬		565
<b>負債合計</b>		<b>4,451,203</b>
<b>純資産</b>	<b>\$</b>	<b>84,692,957</b>
<b>純資産</b>		
豪ドル・クラス	\$	3,332,416
ブラジル・レアル・クラス		8,481,146
通貨セレクト・クラス		15,702,289
日本円・クラス		5,528,709
米ドル・クラス		51,648,397
	<b>\$</b>	<b>84,692,957</b>

発行済み受益証券口数

豪ドル・クラス	3,284,932
ブラジル・リアル・クラス	9,888,085
通貨セレクト・クラス	20,018,790
日本円・クラス	4,667,213
米ドル・クラス	38,945,832

受益証券1口当り純資産額

豪ドル・クラス	\$	1.014
ブラジル・リアル・クラス	\$	0.858
通貨セレクト・クラス	\$	0.784
日本円・クラス	\$	1.185
米ドル・クラス	\$	1.326

損益計算書

2017年5月31日に終了した年度

投資収益

配当収益 (源泉税 \$604,235控除後)	\$	1,476,846
<b>投資収益合計</b>		<b>1,476,846</b>

費用

運用会社報酬	550,469
会計および管理会社報酬	57,504
専門家報酬	51,755
保管会社報酬	46,427
為替運用会社報酬	33,315
名義書換代理人報酬	14,994
受託会社報酬	13,667
為替取引補助会社報酬	3,694
登録料	810
<b>費用合計</b>	<b>772,635</b>

<b>投資純利益</b>	<b>704,211</b>
--------------	----------------

実現益 (損) および評価益 (損) :

実現益 (損) :

証券投資	14,570,356
外国為替取引および外国為替先渡契約	2,426,761
<b>純実現益</b>	<b>16,997,117</b>

評価益 (損) の純変動 :

証券投資	7,033,812
外国為替換算および外国為替先渡契約	455,286
<b>評価益の純変動</b>	<b>7,489,098</b>

<b>純実現・純評価益</b>	<b>24,486,215</b>
-----------------	-------------------

<b>運用による純資産の純増</b>	<b>\$ 25,190,426</b>
--------------------	----------------------

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド –イーグルアイII– 予想分配金提示型

(米ドル建て)

投資明細表  
2017年5月31日

株数	有価証券の明細	純資産に 占める割合	評価額
	<b>普通株 (95.6%)</b>		
	英国 (3.5%)		
	保険 (3.5%)		
22,615	Aon PLC	\$	2,960,530
	英国合計 (簿価 \$2,244,590)		2,960,530
	米国 (92.1%)		
	自動車 (5.0%)		
124,665	General Motors Co.		4,229,883
	銀行 (14.7%)		
77,040	Citigroup, Inc.		4,664,002
29,020	JPMorgan Chase & Co.		2,383,993
105,995	Wells Fargo & Co.		5,420,584
			12,468,579
	<b>商業サービス (4.8%)</b>		
34,495	Moody's Corp.		4,085,933
	<b>総合金融サービス (3.3%)</b>		
6,750	BlackRock, Inc.		2,762,370
	<b>食品 (1.4%)</b>		
25,500	Lamb Weston Holdings, Inc.		1,183,455
	<b>ヘルスケア製品 (4.0%)</b>		
56,925	Baxter International, Inc.		3,376,222
	<b>ヘルスケアサービス (9.3%)</b>		
58,380	HCA Healthcare, Inc.		4,781,906
35,980	Quintiles IMS Holdings, Inc.		3,110,111
			7,892,017
	<b>保険 (4.6%)</b>		
61,380	American International Group, Inc.		3,905,609
	<b>インターネット (11.8%)</b>		
6,345	Alphabet, Inc. Class C		6,122,037
64,130	CDW Corp.		3,859,343
			9,981,380
	<b>建設機械・鉱山機械 (3.0%)</b>		
24,025	Caterpillar, Inc.		2,532,956
	<b>メディア (6.6%)</b>		
16,225	Charter Communications, Inc. Class A		5,606,549
	<b>その他製造 (5.4%)</b>		
166,905	General Electric Co.		4,569,859
	<b>不動産 (3.2%)</b>		
77,890	CBRE Group, Inc. Class A		2,716,803
	<b>小売 (6.5%)</b>		
56,470	CarMax, Inc.		3,548,010
22,255	Tiffany & Co.		1,935,295
			5,483,305
	<b>ソフトウェア (4.2%)</b>		
79,035	Oracle Corp.		3,587,399
	<b>通信 (4.3%)</b>		
98,540	CommScope Holding Co., Inc.		3,644,994
	米国合計 (簿価 \$66,076,690)		78,027,313
	普通株合計 (簿価 \$68,321,280)		80,987,843

元本	短期運用 (5.8%)							
	ケイマン諸島 (5.8%)							
	定期預金 (5.8%)							
	Wells Fargo & Co.							
\$4,895,880	0.42% due 06/01/17							4,895,880
	定期預金合計							4,895,880
	ケイマン諸島合計 (簿価 \$4,895,880)							4,895,880
	短期運用合計 (簿価 \$4,895,880)							4,895,880
	投資総額 (簿価 \$73,217,160)				101.4%	\$		85,883,723
	現金および他の資産を超過する負債				(1.4)			(1,190,766)
	純資産				100.0%	\$		84,692,957

投資明細表のすべての有価証券は運用会社の最良の判断に基づいて有価証券の所在地ではなく、リスクの所在国によって分類されています。

2017年5月31日現在の豪ドル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
AUD	Citibank N. A.	4,477,785	2017/6/20	USD	3,319,538	\$ 12,926	\$ -	\$ 12,926

2017年5月31日現在のブラジル・リアル・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
BRL	Citibank N. A.	26,828,706	2017/6/20	USD	8,609,511	\$ -	\$ (371,894)	\$ (371,894)

2017年5月31日現在の通貨セレクト・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
BRL	Citibank N. A.	8,000,982	2017/6/20	USD	2,567,569	\$ -	\$ (110,908)	\$ (110,908)
IDR	Citibank N. A.	35,181,726,224	2017/6/20	USD	2,645,282	-	(9,097)	(9,097)
INR	Citibank N. A.	157,970,105	2017/6/20	USD	2,458,672	-	(16,123)	(16,123)
MXN	Citibank N. A.	42,608,750	2017/6/20	USD	2,267,967	3,564	-	3,564
RUB	Citibank N. A.	147,850,152	2017/6/20	USD	2,608,047	-	(14,281)	(14,281)
TRY	Citibank N. A.	11,151,322	2017/6/20	USD	3,111,461	24,551	-	24,551
						\$ 28,115	\$ (150,409)	\$ (122,294)

2017年5月31日現在の日本円・クラスの外国為替先渡契約

買い	取引相手	契約金額	決済日	売り	契約金額	評価益	評価 (損)	評価益 / (損)
JPY	Citibank N. A.	613,478,800	2017/6/20	USD	5,405,064	\$ 146,808	\$ -	\$ 146,808

通貨の略称

AUD	-	豪ドル
BRL	-	ブラジル・リアル
IDR	-	インドネシア・ルピア
INR	-	インド・ルピー
JPY	-	日本円
MXN	-	メキシコ・ペソ
RUB	-	ロシア・ルーブル
TRY	-	トルコ・リラ
USD	-	米ドル

## ダイワ・マネーストック・マザーファンド

### <補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型）が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第19期の決算日（2018年5月28日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を61ページに併せて掲載いたしました。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2017年11月29日から2018年5月28日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
723 国庫短期証券 2018/3/5	220,001		
707 国庫短期証券 2017/12/11	130,001		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

2018年5月28日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第8期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

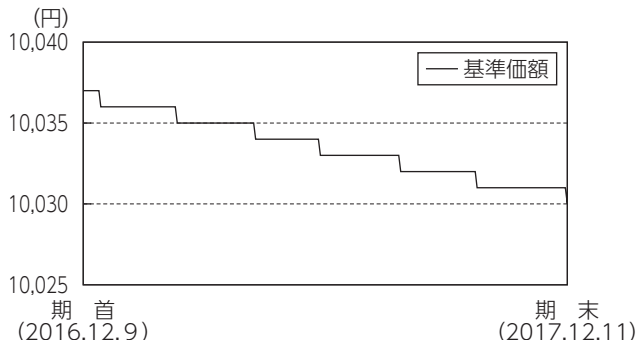
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## ■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

#### 【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

### ◆投資環境について

#### ○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

### ◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

## ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

## ■売買および取引の状況 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400			
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。



■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C/D)	10,030円

\* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、US 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセア内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワUS 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット垂組垂株株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり 49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし 49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) プラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 プラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

# ダイワ・マネーストック・マザーファンド

## ■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。